



Firepower Threat Defense 仮想 と Oracle Cloud Infrastructure の使用開始

Firepower Threat Defense 仮想 (FTDv) は、シスコの Firepower 次世代ファイアウォール機能を仮想化環境にもたらし、一貫性のあるセキュリティポリシーを実現して、物理、仮想、クラウドの各環境にわたって、またクラウド間で、ワークロードを把握します。

この章では、Oracle Cloud Infrastructure (OCI) 環境内における Firepower Threat Defense 仮想の機能について解説し、機能のサポート、システム要件、ガイドライン、制限事項などを説明します。また、この章では FTDv を管理するためのオプションについても説明します。

展開を開始する前に、管理オプションを理解しておくことが重要です。FTDv の管理と監視には Firepower Management Center を使用できます。

- [OCI への FTDv の展開について \(1 ページ\)](#)
- [FTDv と OCI の前提条件 \(2 ページ\)](#)
- [FTDv と OCI のガイドラインおよび制限事項 \(3 ページ\)](#)
- [OCI 上の FTDv のネットワークトポロジの例 \(3 ページ\)](#)

OCI への FTDv の展開について

Cisco Firepower Threat Defense 仮想 (FTDv) は、物理的な Cisco FTD と同じソフトウェアを実行して、仮想フォームファクタにおいて実証済みのセキュリティ機能を提供します。FTDv は、パブリック OCI で展開できます。その後設定を行うことで、時間の経過とともにロケーションを展開、契約、またはシフトする仮想および物理データセンターのワークロードを保護できます。

OCI のコンピューティングシェイプ

シェイプは、インスタンスに割り当てられる CPU の数、メモリの量、およびその他のリソースを決定するテンプレートです。FTDv は、次の OCI のシェイプタイプをサポートします。

表 1: でサポートされるコンピューティングシェイプ FTDv

OCI シェイプ	属性		インターフェイス
	oCPU	RAM (GB)	
VM.Standard2.4	4	60 GB	最小 4、最大 4
VM.Standard2.8	8	120 GB	最小 4、最大 8

- OCI では、1 つの oCPU は 2 つの vCPU に相当します。
- FTDv には、少なくとも 4 つのインターフェイスが必要です。

ユーザは、OCI でアカウントを作成し、Oracle Cloud Marketplace の Cisco Firepower NGFW 仮想ファイアウォール (NGFWv) 製品を使用してコンピューティングインスタンスを起動し、OCI のシェイプを選択します。

FTDv と OCI の前提条件

- <https://www.oracle.com/cloud/> で、OCI アカウントを作成します。
- Cisco スマートアカウント。Cisco Software Central (<https://software.cisco.com/>) で作成できます。
- Firepower Threat Defense 仮想 へのライセンス付与。
 - Firepower Management Center からセキュリティ サービスのすべてのライセンス資格を設定します。
 - ライセンスを管理する方法の詳細については、『[Firepower Management Center Configuration Guide](#)』の「[Licensing the Firepower System](#)」を参照してください。
- インターフェイスの要件：
 - 管理インターフェイス (2) : 1 つは Firepower Threat Defense 仮想 を Firepower Management Center に接続するために使用されます。もう 1 つは診断目的に使用され、通過トラフィックには使用できません。
 - トラフィック インターフェイス (2) : Firepower Threat Defense 仮想 を内部のホストおよびパブリック ネットワークに接続するために使用されます。
- 通信パス：
 - Firepower Threat Defense 仮想 にアクセスするためのパブリック IP。
- FTDv のシステム要件については、『[Cisco Firepower Compatibility Guide](#)』を参照してください。

FTDv と OCI のガイドラインおよび制限事項

サポートされる機能

- OCI 仮想クラウドネットワーク (VCN) での展開
- ルーテッドモード (デフォルト)
- ライセンス : BYOL のみをサポート
- Firepower Management Center サポートのみ。

サポートされない機能

- Firepower Device Manager を介したローカル管理サポート。
- IPv6
- FTDv ネイティブ HA
- 自動スケール
- トランスペアレント/インライン/パッシブ モード
- DHCP を使用したデータインターフェイス設定

OCI 上の FTDv のネットワークトポロジの例

次の図は、FTDv 用に 4 つのサブネット (管理、診断、内部、外部) が OCI 内に設定されたルーテッドファイアウォールモードの FTDv の推奨トポロジを示しています。

図 1: OCI 上の FTDv の展開例



